

第2回 新庁舎整備に関するワークショップ 開催レポート

第2回 新庁舎整備に関するワークショップを開催しました！前回と同じグループ構成の為、初めから和気あいあいとした様子でスタート！新庁舎にどんな空間・機能があると良いか、想像力を働かせ、楽しみながらワークを行うことができました。

第1回
2025年
6月15日(日)
午後1時~3時
まちなか庁舎を語ろう！



第2回
2025年
7月6日(日)
午後1時~3時
新庁舎をどう使う!?

新庁舎での素敵な過ごし方をみんなでイメージします。

会場 熊本城ホール 中会議室
参加者 23名 (市民公募)
ファシリテーター
星野裕司様 (熊本大学景観デザイン研究室教授)
山下裕子様 (まちなか広場研究所主宰)

次回の予定
第3回
2025年
8月3日(日)
午後1時~3時
新庁舎の未来を思い描く！




アイスブレイク

1か月振りの再会！普段、現庁舎・区役所にはどのような用事で来ますか？来庁時に困ったことは？等の話から始めました。

情報共有

新庁舎整備に関する基本的な考え方、5~6月に実施したオープンハウス・市民アンケートの結果、現庁舎の利用状況について共有しました。

意見交換

- まず、グループごとに新庁舎の利用者像(2人)を設定しました。2人の利用者像のうち、1人は事務局から利用者像を提示し、1人は各グループで自由に設定を考えてもらいました。
- 次に、その利用者像が庁舎を利用する場面と理想的な過ごし方を想像し、理想的な過ごし方をする為に庁舎に必要な空間と機能は何かについて話し合いました。



テーマ① 想定した利用者像

70代男性：手続きで来庁、杖を使用	3人家族：休日に買い物ついでに立ち寄り
30代女性：乳幼児連れ、車で来庁	50代男性：他県職員、情報収集に来庁
40代女性：車いす使用、バスで来庁	3人家族：県外から観光に、土地勘ない
50代男性：仕事で本庁舎、私用で区役所に	10代女性：高校の友達と放課後自習に
10代女性：塾帰りに友達と一緒に立寄り	40代女性：平日の夕方、イベントついでに
3人家族：県外から観光に、荷物多い	50代男性：母親の手続きの為、県外から来庁
20代男性：海外から転入、日本語話せない	30代夫婦：障がいに関する相談に、妻が介助



イラスト出典：居心地のいい歩いて楽しめるまちなか未来図 (熊本市中心市街地ウォークアブルビジョン)

テーマ② 庁舎での過ごし方、必要な空間・機能

	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
利用しやすく	色んな方向からアクセスできる	複数の出入口
	外から駐車場の入り口がすぐ分かる	(空き)駐車場が分かりやすい標識
	サクラマチクマモトからアクセス	サクラマチクマモトと接続
楽しく快適に	レンタサイクルでアクセス	敷地内にレンタサイクルポート
	手続きを効率的に	予約システム、AIコンシェルジュ
	だれでもゆったり休憩	カフェやキッズスペースを備えた休憩スペース (クーリングシェルター)
誰でも安心	観光や歴史等の情報収集	情報発信コーナー
	熊本城の展望を楽しむ	屋上に展望スペース (屋根付き)
	各種イベントに参加	商業的、多目的に活用できるイベントスペース
	障がい者が通りやすい動線	障がい者の動線計画
	子どもを遊ばせながら休憩	キッズスペースの設置
	だれにでも行先を分かりやすく	分かりやすいサインの設置
	外国人の方もスムーズに手続き	多言語対応タブレットの設置

など




全体共有

各グループのアイデアを全体で共有し、参加者の皆さんは深く頷きながら共感されていました！



・新庁舎整備の各フェーズごとに、様々な手法で市民の皆様への情報発信と意見聴取を行います。
・R7年度の基本計画フェーズでは、今回のワークショップの他、オープンハウス、市民アンケート等を実施しています。
・皆様からいただいたご意見を基に、新庁舎整備について検討を進めていきます。